

# 「映像の力」でニッポンをASEANに売り込め！

シンガポール事務所

12月2日（水）から4日（金）まで、国際映像商談会「アジア TV フォーラム&マーケット(ATF)」がシンガポールで開催されました。日本のドラマや情報番組の海外放送を通じて日本のブランドイメージを高め、外国人観光客の誘致や地域物産品の海外販路拡大を図るため、札幌市など公的機関とメディアからなる全国7地域のコンソーシアムが共同で日本ブースを出展しました。

## 1 映像コンテンツの一大祭典

ATF はシンガポールで毎年開催される映像コンテンツの国際見本市です。世界で活躍するTV・映画業界のトッププレイヤーが一堂に会するため、ネットワーキングや商談を行う貴重な機会となっています。

日本ブースでは交流会が開催され、寿司や日本酒が振舞われるとともに舞妓による演舞が披露されました。交流会には多くのバイヤーが集まり、商談の促進に一役買いました。



日本ブースでは多くの商談が行われた

## 2 オールジャパンの「連携力」

札幌市は2011年に「札幌コンテンツ特区」の指定を受けました。札幌・北海道における映像制作の増加を通じた映像産業の基盤強化・雇用拡大と、映像の持つ情報発信力を活用した観光・食産業の活性化を目的に、様々な取組を展開しています。オールジャパンでのブース出展は昨年引き続き2回目で、さっぽろ産業振興財団の呼び掛けで実現したものです。

映像コンテンツの販売に加え、海外番組制作会社のロケ地誘致や国際共同制作を促進するためには、海外メディア会社とのネットワーク構築が肝要です。地域が単独で取組むよりも、日本各地の魅力を集めて多彩なコンテンツを提案することが、海外のバイヤーへの訴求力を高めます。



日本の伝統美を海外に発信

自治体間の連携は、海外でのプロモーションの効果を一段と高めることとなるでしょう。

(佐々木所長補佐 札幌市派遣)